

**KYUGI**

国土交通省 九州地方整備局 九州技術事務所

# バリアフリー比較体験施設

このようにご活用下さい！

## バリアフリー技術者教育

発注者・設計者・施工者  
行政、建設コンサルタント  
資材メーカー、ゼネコン等

## 体験学習

地域住民  
・  
児童・生徒

## 合意形成

道路事業者・道路利用者  
(行政)  
地域住民  
NPO等

バリアフリー技術を伴う事業の円滑化、  
道路空間のユニバーサルデザイン思想の普及・促進



## バリアフリーとは...

バリアフリー＝バリア(障壁、さえぎるもの)がないこと

障害のある人が社会生活をしていく上で**障壁(バリア)**となるものを**除去**するという意味で、昭和49年(1974年)に国連障害者生活環境専門家会議が「バリアフリーデザイン」という報告書を出したところから、この言葉が使用されるようになりました。

もともとは**建築用語として登場**し、建物内の**段差の解消等物理的障壁の除去**という意味合いが強いものの、より広く障害のある人の社会参加を困難にしている社会的、制度的、心理的なすべての障壁の除去という意味でも用いられています。

## ユニバーサルデザインとは...

ユニバーサルデザイン＝全ての人の為のデザイン

年齢や障害、ハンディキャップなどの有無に関係なく、物を創る最初のデザイン・設計から**出来るだけ多くの人が利用できる様にデザインする思想**です。

この思想は、1980年代にアメリカ・ノースカロライナ州立大学のロナルド・メイス氏によって推進されました

## バリアフリー比較体験施設について

日本においては、諸外国に例を見ないほどの高齢化社会を迎えようとしています。

そのため、道路空間のバリアフリー化を推進し、高齢者・身体障害者等の移動に際しての身体の負担を軽減し、移動の利便性及び安全性の向上を進めています。

九州技術事務所に設置している施設は、車いす・白杖・高齢者体験グッズ等を使用して、従来の構造とバリアフリー化構造を比較体験していただき、様々なハンディーを経験していただく施設です。

本施設を利用頂き「実際に学んで」「心のバリアを取り除く」お手伝いができれば幸いです。

体験施設は、①から⑨、9つのゾーンに分かれています。

**バリア(障害)及びバリアフリーを体験し、心のバリアを除きましょう！！**

### ①ゾーン:誘導材、視線誘導ブロック輝度比

- ・舗装材の違い  
(舗装材による歩行性、車いす走行時の振動の違いを体験)
- ・視線誘導ブロック輝度比の違い  
(舗装材と視線誘導ブロックの色の差(輝度比)により見え方の違いを体験)

### ②ゾーン:縁石の段差

- ・車いす利用者と視覚障害者で段差の有無に違いがあることを体験

### ③ゾーン:波打ち歩道

- ・車いす走行時に舗装の波打ちや横断勾配がどう影響するかを体験

### ④ゾーン:スムーズ歩道、エスコートゾーン

- ・スムーズ歩道  
(歩道側の段差を小さく車道側の段差を大きくした「スムーズ歩道」施設があることを認識)
- ・エスコートゾーン  
(横断歩道内に点字を設置した「エスコートゾーン」施設があることを認識)

### ⑤ゾーン:障害物(防護柵)

- ・タイプの違う防護柵で、視認性の違いや、構造的なバリア(ガードレールの袖やボルトの出っ張りに引っかかる等)を体験

### ⑥ゾーン:障害物(グレーチング)

- ・グレーチングの規格や設置場所によって通行の障害になることを体験

### ⑦ゾーン:障害物(電柱、マンホール)

- ・歩道上にある占用物件(電柱・マンホール等)によるバリア(障害)を体験

### ⑧ゾーン:スロープ・階段体験

- ・スロープ(規定値の5%の勾配、手すりの利用しやすさを体験)
- ・階段体験(階段の構造の違いでつまづきやすさを体験)

### ⑨ゾーン:幅員比較

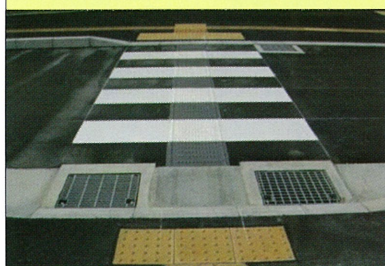
- ・車いす利用時に必要とする幅を体験

# バリアフリー比較体験施設

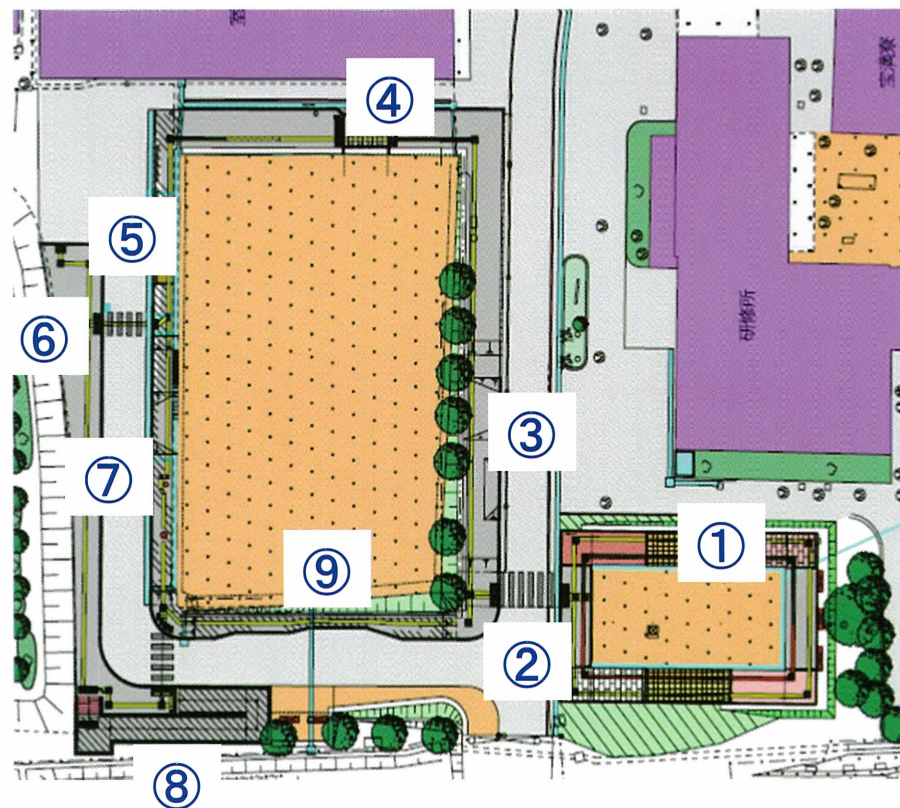
⑤障害物(防護柵)



⑥障害物(グレーチング)



⑦障害物(電柱)



④スムーズ歩道、エスコートゾーン



③ 波打ち歩道



① 舗装材、視線誘導ブロック輝度比



⑧スロープ体験 縦断勾配(5%)



⑨幅員比較 縦断勾配(8%)



② 縁石の段差

